



行方不明者の捜索(大船渡市)

■ 自衛隊による活動

138日間にわたり多方面での支援活動を展開

東日本大震災津波では、10万7千人という空前の規模で自衛隊が派遣されました。陸・海・空の3自衛隊が、訓練以外で統合任務隊として運用されたのは初めてのことです。



音楽隊によるミニコンサート(田野畑村)

自衛隊は、被災者の救出や行方不明者の捜索のほか、がれきの撤去、支援物資の運送、給水、給食のほか、女性自衛官による「お話し隊」が避難所を巡回して傾聴活動を行うなど、多方面にわたる活動を展開しました。

■ 消防による活動

全国からの援助隊と地元消防団により活動を展開

本県からの緊急消防救助隊派遣要請により、全国からの緊急消防救助隊の派遣数が延べ2,279隊、7,633人にのぼり、名古屋市消防局が県内消防活動全般の指揮をとるなど、多くの都道府県隊の支援による活動が行われました。



緊急消防援助隊(大船渡市)



県外から被災地に到着した消防車群(陸前高田市)

■ 被災市町村への職員派遣

全国の自治体から1,000人を超える派遣

今回の震災により、沿岸の5市町村で108人の職員の方が犠牲となりました。このような中、発災直後の3月末に、名古屋市から陸前高田市に対して職員派遣の申出があり、その後も県内及び全国の自治体から同様の申出を受け、平成23年度は171人を、平成26年3月までに1,000人を超える派遣をいただき、現在も全国の自治体に協力を依頼しています。



大槌中学校生徒会による派遣職員に感謝する会(平成25年12月)

久慈市	野田村	田野畑村	岩泉町	宮古市
1	23	25	12	101
山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市
58	151	134	85	113
合計				703

(平成26年11月1日現在)

	必要人数	派遣決定数	一般事務					その他
			うち用地関係	土木	建築	保健師		
平成23年度(H24.3.31現在)	—	171	97	—	42	10	12	10
平成24年度(H25.3.31現在)	366	321	145	21	127	21	16	12
平成25年度(H26.3.31現在)	628	596	294	68	204	38	21	39

※その他は、機械技師、電気技師、看護師、社会福祉士、保育士、理学療法士、司法書士など

■ 全国から215人の警察官が本県へ特別出向

被災地の安全と安心の確立のために

沿岸市町村の治安維持機能が極めて憂慮すべき状況になる中、1都15県から延べ215人の警察官が本県に特別出向し、被災地の良好な治安の確保のため、応急仮設住宅団地の巡回やパトロール活動をはじめ、交通安全活動、犯罪の取締りなどに従事しています。

また、大船渡・釜石・宮古署では、沿岸地域の児童・幼児を対象に、ヒーロー寸劇等による防犯啓発活動も行っています。



特別出向警察官着任式



警察官によるヒーロー寸劇

出向元	出向人数(延べ)
青森県	15
警視庁	31
埼玉県	8
神奈川県	10
山梨県	11
長野県	23
三重県	15
岡山県	17
広島県	25
徳島県	5
香川県	7
高知県	5
熊本県	14
大分県	9
宮崎県	9
沖縄県	11
合計	215

■ 医療チームの派遣

全国各地の医師による被災地医療支援

発災直後には、国の要請を受けた全国のDMATが来援し、29都道府県の128チームがトリアージや応急処置、病院支援の活動を展開しました。

また、発災後間もなく岩手医科大学に設置された「災害時地域医療支援室」が窓口となって受入調整を行い、平成23年12月末までの間に88チーム、延べ4,463人の県外医師による医療支援が行われました。

さらに、岩手県医師会(JMAT岩手)による、内陸部から沿岸被災地への診療応援活動により、2つの県立病院がその支援を受けました。



参集したDMATによる打合せ(宮古市 平成23年3月)

■ 海外からの支援

つながりに感謝

被災地では、米軍と自衛隊による「トモダチ作戦」をはじめ、米国・英国・中国などの救援隊も救援活動にあたりました。

また、発災直後から、多くの国々から支援物資が届けられたほか、世界各国からの義援金や寄附金が、三陸鉄道の復旧や被災地における保育所・学童施設・ホールなどの施設整備に役立てられました。

©US Pacific Fleet



海外からの救援隊(大船渡市 平成23年3月)

これまでいただいた支援の状況

東日本大震災津波発災以降、国内外の皆様から多大な御支援や励ましをいただき、心より厚く御礼を申し上げます。

活動ボランティア受入人数
延べ510,137人(平成26年10月末現在)
今後とも、被災者と被災地に寄り添うご支援を引き続きお願いいたします。

問合せ先▶ 岩手県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター ☎019-637-9711

寄附金 194億円
(平成26年10月末現在)
被災者の生活支援や住宅再建支援、雇用確保や産業の復興に活用させていただいております。

問合せ先▶ 保健福祉部保健福祉企画室 ☎019-629-5408

義援金 527億円
(平成26年10月末現在)
被災された方々の生活再建のために活用させていただいております。

問合せ先▶ 復興局生活再建課 ☎019-629-6917

いわての学び希望基金 70億円
(平成26年10月末現在)
教育の充実のための奨学金、教科書や制服の購入費、修学旅行や部活動への参加経費など、被災地の子どもたちの「暮らし」と「学び」のために活用させていただいております。

問合せ先▶ 復興局復興推進課 ☎019-629-6922

ふるさといわて応援寄付(ふるさと納税) 8億円
(平成26年10月末現在)
岩手の美しい自然環境を保護し、次世代に引き継いでいく事業や、これからの岩手を担う人材の育成や子育て支援、災害復旧対策のための資金として活用させていただいております。

問合せ先▶ 総務部税務課 ☎019-629-5144

復興が着実に進むよう、全力で取り組んで参りますので、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。